



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒーアワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫 ■ 「想い出は美しい衣をまとして」
 今年の春二回、生まれ故郷の青森県を訪れた。それは終(ついに)のすみかまで
 ごしたいという母、静江を日本に送るためと、それから一ヶ月もするかしらないか
 で召された母の葬儀のためであった。そこは家内の妹の陽子の嫁ぎ先の七戸とい
 う畜産でその名を馳せた南部の一城下町で、僕は小学五年生から中学一年生まで
 の三年間そこに住んだことがある。当時、警察官であった親父の転勤で青森県を
 二分する津軽と南部とを三年毎に行き来していた訳だが、その一つが七戸だった
 のである。これまで数回、訪れたことはあったのだが、今回は葬儀の間、少し時
 間が取れたこともあって、町を歩いて探訪することにした。
 そこは生まれて初めて歩く町のように、五〇年ほど前の記憶はとつとくに失わ
 れていた。当時通っていた小学校も新しい地に移築し、当時住んでいた町営住宅
 も最早そこにはない。ただかすかに当時通った道筋がおぼろげながらも思い出さ
 れるに過ぎなかった。町中を出ると、七戸を睥睨するかのように見下ろす雄大な
 八幡岳と南八甲田連峰の全景の見える景色の良い七戸川の川べりに来た。召され
 てまだ三ヶ月も経たない妻、節子のことと、二十二年間一緒に過ごしてきた母と
 のこれまでの過ぎ越し方を想い浮かべながら、誰もいないその川べりで思い切り
 泣きながら歩き始めたのだ。フキノトウがここかしこで芽吹いていて、何と
 も言えずに心地良い春の息吹が感じられ、その小道をいつまでも歩いていたい
 という想いに駆られていた。しばらく歩き続けていると、作田川と言うもう一つの
 川が七戸川に合流する辺りに来ていた。そこには、えん堤がある。それを何気な
 く見つめていると、突然、小学校の夏休みにそのえん堤で遊んだ時の思い出がふ
 つつとよみがえってくるではないか。そうだった、ここで時間を忘れて真っ黒
 になるまで遊んだものだった。えん堤の上から飛び込んで川底の大きな石に頭を
 したたか打って、しばらく泣いていたっけなどと、当時の想い出が走馬灯のよう
 にめくるめくではないか。その時、目の前の山々が一幅の絵のように輝いて見え、
 それまで見知らぬ町のように感じていたその距離感が一気に縮まり、七戸が何と
 も言えず愛しくなってくるのを感じていた。
 詩篇百三十七篇に「われらはバビロンの川のほとりにすわり、シオンを思い出
 して涙を流した」(1節)とある。捕囚の地バビロンでイスラエルの人々はどんな
 にシオンと呼ばれたエルサレムを恋慕ったことであろう。想い出は時間を越え
 て、美しい衣をまとして実に親しく語りかけて来る愛する者のようだ。

「オレンジ郡キリスト教会
の歩み」
 オレンジ郡キリスト教会
は一九七七年に発足し、東
洋宣教会・北米ホーリネス
教団に所属するプロテスタ
ント教会の一つです。北米
ホーリネス教団は一九二一
年に創立され、現在は日英
両語合わせますと二千名を
越える会員になります。
 私たちの教会は一八世紀
に、英国で始まったジョン
ウエスレーによるメソジス
ト教会の流れを汲みます。
そして他のプロテスタント
教会同様、三世紀以来告白
され続けてきた使徒信条
を、私達の信仰告白といた
します。

